



No.22

平成23年8月9日発行

おおい町

# 議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



大島南浦

## Contents

- 第3代おおい町議会議員が決定 ..... 2
- こんなことが決まりました ..... 4
- 町政ここが聞きたい! ..... 6
- 研修視察報告 ..... 10
- あれからどうなったの? ..... 11
- 輝く人 ..... 12

# 議会議員が決定

また、5月10日の臨時会で、正副議長の人事や委員会構成などが決まりました。

## 健全財政の保持に渾身の努力を



おおい町議会 議長

新谷 欣也

このたび、平成23年5月10日の議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、おおい町議会5代目議長の要職に就任いたしました。

もとより微力ではございますが、その重責を痛感し、地方自治の発展と福祉向上、開かれた議会運営を目指して、誠心誠意努力いたす所存でございますので、今後とも町民各位の一層のご指導ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。

3月11日に発生した東日本大震災で被災されました方々に、つつしんでお見舞い申し上げますと共に、一日でも早い復興をご祈念いたします。また、福島第一原子力発電所の事故により、避難を余儀なくされておられる方々にも、お見舞い申し上げます。

その福島第一原子力発電所の事故により、国のエネルギー政策の見直しが検討されているように聞いております。

国策で進められてきた原子力発電所を誘致して以来、四十年余り原子力と共存共栄してまいりましたおおい町にとりまして、大変重大な政策変換であり、財政的にも危機感を持つているところであります。

国の動向を見極めながら、理事者と議会が一体となり、健全財政の保持に努めるため、渾身の努力をいたします。

今後とも、格別のご指導、ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

# 第3代おおい町

任期満了に伴う町議会議員一般選挙が4月24日に行われ、新しい議員14人が決まりました。

## 議長 副議長 総務常任委員会

委員長 森内 正美  
副委員長 猿橋 啓一  
委員 新谷 欣也  
小川 宗一

## 産業建設常任委員会

委員長 古石 寛  
副委員長 猿橋 巧  
委員 中本 茂  
松井 榮治  
小川 宗一  
浜上 雄一

## 予算決算常任委員会

委員長 中塚 寛  
副委員長 古石 寛  
委員 猿橋 巧  
中本 茂  
松井 榮治  
小川 宗一  
森内 正美  
今川 直樹  
浜上 雄一  
猿橋 啓一  
森口 精治  
松宮 史知  
尾谷 和枝

## 原子力発電対策特別委員会

委員長 松井 榮治  
副委員長 浜上 雄一  
委員 猿橋 巧  
中塚 宗一  
小川 寛

## 広報特別委員会

委員長 松宮 史知  
副委員長 森口 精治  
委員 小川 宗一  
森内 正美  
今川 直樹  
尾谷 和枝

## 企業誘致等特別委員会

委員長 中本 茂  
副委員長 今川 直樹  
委員 中塚 寛  
浜上 雄一  
猿橋 啓一  
森口 精治  
尾谷 和枝

## 議会運営委員会

委員長 中本 茂  
副委員長 中塚 寛  
委員 猿橋 巧  
古石 寛  
森内 正美  
森口 精治

## 嶺南広域行政組合議会

議員 新谷 欣也  
中塚 寛

## 若狭消防組合議会

議員 猿橋 巧  
中本 茂

## 公立小浜病院組合議会

議員 松井 榮治  
森内 正美

## 福井県後期高齢者医療 広域連合議会

議員 新谷 欣也



就任のごあいさつ

3・4回  
臨時会

# こんなことが決まりました

6月  
定例会

第3回臨時会(4月13日)では、専決処分の承認2件、人事案件の同意1件をそれぞれ原案どおり可決しました。

第4回臨時会(5月10日)では、議会の構成を決定したほか、工事請負変更契約1件を原案どおり可決し、農業委員会委員の推薦や監査委員の選任に同意しました。

6月定例会(14日～27日)では、8人の一般質問が行われたほか、報告11件や議案6件、諮問2件、陳情3件がそれぞれ審議されました。

第3回臨時会

4月13日

## ●専決処分の承認

国民健康保険条例の改正

被保険者の出生育児一時金を35万円から39万円に引き上げるもの。

(全会一致・承認)

国民健康税条例の改正

基礎課税額の上限を50万円から51万円に、後期高齢者支援金等課税額の上限を13万円から14万円にそれぞれ引き上げるもの。

(全会一致・承認)

## ●教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、柿本治氏(笹谷)を再任するもの。

(全会一致・同意)

第4回臨時会

5月10日

## ●林産加工施設用地造成工事請負変更契約の締結

残土処理方法の変更などに伴い、工事費を1102万5千円減額し、7245万円で工事請負変更契約を株式会社山本組と結びました。

(全会一致・可決)

## 金網柵の設置に5億3214万円

国などの補助金を受け大幅増額

こんなことが決まりました

## ●平成23年度6月補正予算

所要の経費を追加する一般会計補正予算(その1)は、予算決算常任委員会に付託され審議・報告の後、原案どおり可決しました。

## ■一般会計補正予算(その1)

5億7284万円

(全会一致・可決)

## 【主な歳出】

### 総務費

## ○ケーブルネットワーク施設運営事業

BS放送の新規チャンネル追加に対応するため、有線放送設備の改修を行うもの。

589万3千円

### 農林水産業費

## ○鳥獣被害防止緊急対策事業

山際に金網柵を設置する鳥獣被害防止緊急対策事業を、国の補助事業に採択されたことにより、大幅に増額するもの。

5億3214万7千円

## ○消費者に選ばれる

### 福井米づくり事業

米の品質を確保するため、カントリーエレベーターなどに生粉用食味分析計を導入することに補助を行うもの。

508万円

### 土木費

## ○橋梁長寿命化事業

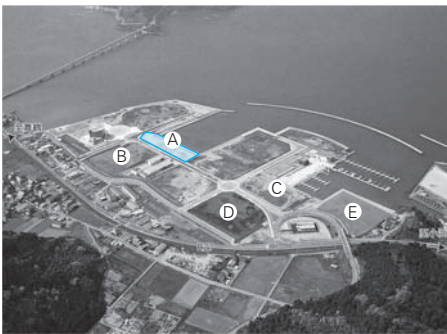
橋梁基本点検の結果を受け、必要な橋梁の詳細点検などを行うもの。

1200万円

## ○うみんぴあ大飯事業

賑わい創出アドバイザーを雇用

645万4千円



賑わい創出施設建設予定のA区画

## 大雨被害の復旧費に9436万円

今後の台風襲来に備えて早期整備を

### ●平成23年度6月補正予算(その2)

5月30日の集中豪雨により発生した被害に対する災害復旧費を追加する一般会計補正予算(その2)と2特別会計補正予算は、予算決算常任委員会に付託され審議・報告の後、すべて原案どおり可決しました。

### ■一般会計補正予算(その2)

8235万2千円  
(全会一致・可決)

### 【主な歳出】

#### 災害復旧費

#### ○現年発生林道施設災害復旧事業

林道大津呂線(本郷地係)ほか8路線の災害復旧工事や設計監理委託を行うもの。

2540万円

#### ○現年発生山地災害復旧事業

潮音院裏(本郷地係)ほか3箇所の災害復旧工事を行うもの。

410万円

#### ○現年発生公共土木施設災害復旧事業

町道尾内長町線(尾内地係)ほか7路線や桜谷川(川上地係)ほか10河川、館寺排水路(本郷地係)の災害復旧工事や測量調査、設計監理委託を行うもの。

3640万円

#### ○現年発生長井浜海水浴場

災害復旧事業

長井浜海水浴場に漂着したゴミの回収・処分を行うもの。

399万円

#### ■特別会計補正予算

被災した名田庄小谷橋を復旧するため、上下水道管を上流側に仮設する工事を行うもの。

なお、事業費は2会計で均等に案分されています。

#### ○簡易水道事業特別会計

600万5千円

#### ○農業集落排水事業特別会計

600万5千円

## 農産加工施設の製造機器備品を購入

平成24年4月の供用開始に向け製造ラインを確立

### 総務常任委員会議案審査結果

総務常任委員会では、付託された議案4件と、陳情1件を審査しました。

その結果、議案はすべて原案どおり可決され、陳情は不採択とすることに決定されました。

### 【審査された主な議案】

#### ●里山文化交流センターの什器備品を1701万円で購入

名田庄久坂地係で整備を進めている里山文化交流センターの椅子や机などを購入するもので、入札の結果、株式会社ラボが落札しています。

(全会一致・可決)

#### ●名田庄図書館の図書資料を1260万円で購入

新たに整備される名田庄図書館の図書資料を購入するもので、入札の結果、有限会社松宮書店が落札しています。

(全会一致・可決)

### 産業建設常任委員会議案審査結果

産業建設常任委員会では、付託された議案1件と、陳情2件を審査しました。

その結果、議案はすべて原案どおり可決され、陳情はすべて不採択とすることに決定されました。

### 【審査された主な議案】

#### ●農産加工施設の製造機器備品を1億1497万5千円で購入

名田庄西谷地係で整備を進めている農産加工施設にそば、惣菜、菓子、漬物を製造する機器を購入するもので、入札の結果、敦賀装設株式会社が落札しています。

(全会一致・可決)



建物が完成した農産加工施設

こんなことが決まりました

■企業誘致への取り組みは

町長 自立した町づくりへの足掛かりとして、積極的に進めます



古石 實

企業誘致の進捗状況は。

問

答

(町長) うみんぴあ大飯事業として、わかさ大飯マリンワールド(株)との協働で、関西電力(株)「エルガイアおおい」や(株)ナフコ「ホームプラザナフコおおい店」、(株)クリハラント「研修施設」を誘致しました。

問

答

7月に出店予定の「ホームプラザナフコおおい店」が出店延期になったと聞きましたが。(副町長) (株)ナフコ店舗開発部長から、震災の影響などから、出店時期を見直したいとの申し出を受けました。

■国の震災後の原発対応への評価は

町長 まだ、国の責任ある対応が明らかにされていません



森内 正美

問

答

町長は、原子力安全・保安院からの説明を受けて、停止中の発電所の再稼働を認められますか。(町長) 再稼働には、住民の安全と安心が担保されること、また、新たな安全基準と道路整備などの防護指針が示されることが必要不可欠です。

問

答

もし、国が避難道路やアクセス道路の整備見通しを示さなければ、町としての判断を下すこともあり得ますか。

答

(町長) そうしなければ住民の理解が得られないと考えます。

問

答

町独自で県外への避難地を考え、対策を講ずるべきでは。(町長) 国の責任で、県境を超えた調整が必要です。

問

答

大飯発電所周辺の活断層は、地震による影響の再評価が必要ですが、県は理解していますか。(町長) 具体的な意見交換はしていませんが、耐震性評価は強く求められていると理解しています。

問

答

本年度、総合防災訓練が予定されていますが、計画通り実施されますか。(副町長) 町単独の訓練は予定していません。



原子力安全・保安院からの説明会

■津波発生の可能性と関西電力からの説明は  
町長 町長説明責任を十分果たすよう要請していきます



浜上 雄一

**問** 若狭湾を含む沿岸で、大津波が起きたとの文献が報道された説明は誤解を招くものであったとしていますが、町長の見解は。

**答** (町長) 誠に遺憾であり、現在検討中の調査から得られた知見を基に、説明責任を十分果たされるよう要請します。

■原子力発電所の稼働停止への見解は  
町長 定期検査中の発電所の再開は認められません

**問** この度の原子力事故を受け、全国の原子力発電所が来年3月には全て停止してしまう事態と

なっていますが、町長の見解は。

**答** (町長) 原子力政策を進めていくためには、住民の安全と安心が第一です。事故の検証結果とその安全対策など、国の責任ある説明がなされる必要があると考えています。

■避難道路の開設と防災計画の見直しは  
町長 関係機関への要請や、速やかな修正を行います

**問** 県道赤礁崎公園線は、緊急時には集中する交通量を裁ききれません。早急に代替アクセス道の開設を関係機関に要請するとともに、防災計画の根本的な見直しが必要と考えますが。

**答** (町長) 代替道路を整備することは最重要課題であり、関係機関に強く要望しています。防災計画の見直しは、上位機関の状況を見極めながら修正します。

■原子力災害時に避難道路は機能しますか  
町長 バイパス道路の建設などを関係機関に強く要望していきます



松宮 史知

**問** 原子力災害時に使用する県道赤礁崎公園線で、特に青戸の大橋や国道27号ほどの程度使えるのか不安がありますが。

**答** (町長) 青戸の大橋は、強風時には通行困難な状況になっています。このため、県は高欄の老朽化に併せ歩行者用の高さの高欄に取



県道赤礁崎公園線の青戸大橋

り替える工事を発注したと聞いています。

しかしながら、大雨や強風時には通行できないこともあるため、災害時避難用道路として災害に強い、安全で、より早く移動できるバイパス的な道路の建設を国・県など関係機関に強く要望していきます。

また、国道27号や162号、県道小浜綾部線の川上区以南の県境部分、坂本高浜線第2期工事も、防災や避難用道路として一日でも早く整備していただくよう、整備促進期成同盟などと広域連携しながら強く要望していきます。



整備が続けられている坂本高浜線

町政ここが聞きたい！

### ■豪雨時の浸水防止策の強化を

**町長** 雨量状況やポンプの能力、台数を検証して排水対策を強化します



猿橋 啓一

**問** 本郷地区は低地なため水門を閉じてポンプで強制的に排水しなければなりません。5月30日の豪雨対策は万全でしたか。

**答** (町長) 樋の口川は、排水ポンプで強制排水しました。また、よばた川は、ゲートを閉め既設ポンプと仮設ポンプの両方で強制排水しました。

ポンプは有効に機能したと考えています。

**問** 館地区への排水対策は万全でしたか。

**答** (町長) 3台の仮設ポンプで強制排水しましたが、住宅の床下浸水が一部発生してしまいました。

**問** 尾内地区への対応策はできていますか。

**答** (町長) 平成22年度に基本計画を策定し、今年度は、整備計画を策定します。

**問** ゲートを閉める基準などを定めていますか。

**答** (地籍整備課長) 佐分利川の水位が1.8mに達したときを閉鎖する基準としています。

**問** 本郷地区は浸水想定地区になりませんが、浸水対策への町長の決意を伺います。

**答** (町長) 本郷地区のほとんどが低地です。

今後、仮設ポンプと電源を常に確保し、排水対策にも万全を期した防災に努めます。



本郷地区の浸水状況

### ■安心な社会を取り戻すための行政の役割は

**町長** 原子力災害に対する防護策は状況に応じて柔軟に対処します



森口 精治

**問** EPNZ(防災対策地域)域外の住民にどう対応しますか。

また、原子力防災の基準を町が独自で持つことを考えてはどうですか。

**答** (町長) EPNZの適用は、住民に対し柔軟に対応します。

また、防災対策を円滑に行なうには各関係機関との協力や、国や県の指針と整合させる必要があり、独自の基準は考えていません。

### ■大飯地域にも通学バスを導入しては

**教育長** 地域からの要望があれば検討します

**問** 保護者の不安と負担を軽減させるため、大飯地域の児

童達にもバス通学制度を取り入れるべきでは。

**答** (教育長) 現時点では、全校児童のバス通学は考えていません。今後、地域からの要望があれば検討します。

**問** 子供たちのための環境づくりに必要な経費は、惜しむべきではないと思えます。

**答** (町長) 子供たちへの経費を惜しむつもりはありません。

### ■有害鳥獣対策で雇用の創出を

**副町長** 補助事業の性格上、行政指導には限界があります

**問** 恒久金網柵設置補助事業で雇用を創出できませんか。

**答** (副町長) 補助制度上予算の執行に厳正を期し、競争性により費用対効果を担保することが原則であることから、雇用面への行政指導には限界があります。



■原発の安全をどう確保しますか

町長 国の原因究明と対策、避難路の確保を強く求めていきます



中塚 寛

問

国が原発の安全を一元管理しなければならぬ立場にありながら、福島原発の事故が発生したことは非常に遺憾であり、強い憤りを感じます。

原発の安全のために、国の主体的で責任ある行動を強く求めるべきだと思いますが。

答

(町長) 内閣総理大臣や経済産業大臣、原子力委員会に対して、全国原子力発電所所在市町村協議会を通じて事故を踏まえた緊急安全対策の実施や原因の徹底的な究明と安全基準の抜本的な見直し、複合災害時の避難道路の整備などの緊急要請を行いました。

これらの要請事項への回答を明確に示し、説明責任を果たすよう、国に對

して再三再四求めているところです。

■核燃料税交付金の配分協議の方針は

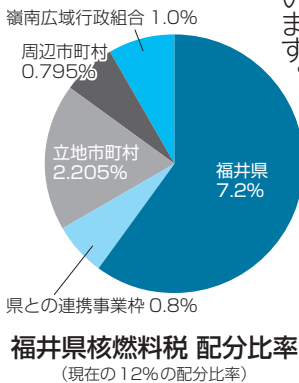
副町長 立地市町への重点配分を求めます

問

福井県核燃料税が5%増の17%となる見込みですが、福島原発の事故により立地自治体の責務がより重くなる中、町や嶺南地域への配分率協議にどのような方針で臨まれるのですか。

答

(副町長) 嶺南立地4市町で構成する福井県原子力発電所所在市町村協議会を通じ、立地市町への重点配分を強く求めたいと考えています。



■原子力行政の転換を求めます

町長 今後のエネルギー政策の方向性は、国民的議論が必要



猿橋 巧

問

今度の事故を受け、原発への認識は変わりましたか。

答

(町長) 安全神話は崩れたと認識しています。

問

EPPZ(防災対策地域)の拡大が必要では。

答

(町長) 国の責任で示すべきであり、町としては、EPPZを広げなければならないような不安な安全対策の原発ならば、持ち帰ってほしい気持ちです。

問

今後は再生可能エネルギーの利用を基本方針に据えて、町の発展を目指すべきでは。

答

(町長) 当面は原子力発電の役割は続くと考えます。しかし、今後のエネルギー政策の方向性や国民的議論を注視してい

く必要があると認識しています。

問

本町の太陽光発電住宅への補助金額は、他地域に比べて低くなっています。

せめて県の補助金額に合わせるべきでは。

答

(副町長) 今後の検討課題とします。

■自然災害に強い町づくりへの方策は

副町長 自主防災組織の育成・協力を努めます

問

災害時毎に発生する水害や土砂災害などを未然に防止することが町の仕事では。

答

(副町長) 必要に応じて治山事業や河川・水路改修を行うとともに、非難対応マニュアルの点検・見直しなどを行っています。地域の「自主防災組織」を育成・強化し、全戸配布のハザードマップの情報を常に把握して、「減災」につなげてほしいと考えています。

## 新人議員研修報告

【研修日時】平成23年5月12日

【参加者】議員7人

【研修場所】福井県自治会館

### 議会のあり方への取り組みが喫緊の課題

研修は福井県町村議会議長会事務局伊藤参事を講師として、内容は最近話題となってる議論や課題を中心とした研修でした。

議会の召集権は町長にのみ認められていますが、鹿児島県阿久根市長の専断乱発問題を受けて、議長にも認める法改正が国会で審議中であること。

また、定例会の回数制限（通常年4回開催）が法改正で撤廃され、いつでも何日でも開催可能となり議会開催が柔軟になったことから、住民に議会活動が理解されやすくなると思われること。

質問、質疑は一問一答方式が住民に分かりやすく理解されやすいため、取り組みが全国的な広がりみせていることから、県内でもおい町をはじめ3町が実施していること。

また、政務調査費の交付は議員

の資質を高め議会を活性化するために必要なことと思われるので、今後の検討課題であること。

議員定数の削減の圧力は議会無用論や議会制民主主義の否定につながるから、住民の理解を得る努力が必要であること。

また、町村議員の報酬は額が低く、若い層や勤労者が出馬できないので、生活できる額に引き上げることが検討課題であること。

一方、議会事務局体制の充実も議会権限の強化や議会活動の活性化に必要であること。

以上、研修を通じて地方議会の最近の話題や、住民の議会への評価が下がっていることから、今後の議会のあり方への取り組みが喫緊の課題であることなどが説明されました。

（今川）

## 町議会広報研修会報告

【研修日時】平成22年6月2日

【参加者】委員6人

【研修場所】福井県自治会館

### 読者目線の編集を

今回の広報研修会は、長年地域開発や地域振興に関わっておられる城市創氏を講師に迎えて行われました。

内容は、「議会だより」を使い日々議会でおこなわれている議論をいかにして町民の皆様に伝えていくかというものでした。

そのためには、まず第一に、「議会だより」にしか書けない内容、つまり議会でのような議論がなされたのかということの公開が大切で、これが「町広報」の決定したことだけを伝える点と最も違いがあることを確認しました。

この点は、「議会だより」は本町の議会基本条例5条にうたわれている「情報公開の徹底」を形にする一つの大切な手段であるので、今後の編集で常に念頭におかなければならないと痛感しました。

第二に、「議会だより」の編集

は、「誰にでも理解できる読者目線」でなければならぬことです。言い換えれば、自分たちの知識のみの世界で繰り広げる紙面展開は、読者を見失っていることだと確認しました。

難解な専門的語句を多用すれば、町民の皆様の読もつとする意欲は減少し、引いては議会離れにつながっていく懸念があります。今後の編集に当たっては、特に注意しなければならぬと感じました。

この研修を今後の議会だよりの紙面編集に生かし、議会の活動内容をできる限り伝えられるよう努力をしていきたいと思えます。

（松宮）



城市氏を迎えて行われた  
広報研修会

# 追跡

1年前の一般質問

## あれからどうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。今回は、平成22年6月定例会からピックアップしました。



### 鳥獣被害防止対策の見直しを

今までの集落や農家組合単位の対策では、被害防止に限界があります。

地域全体を囲う侵入防止柵の設置を進め  
ては。(森内 正美 議員)

町長答弁

### 抜本的な対策を計画します

町民の代表者による検討委員会を立ち上げて、農地の「線と面」の防御に重点を置き、その方策を検討していきます。

どうなった？

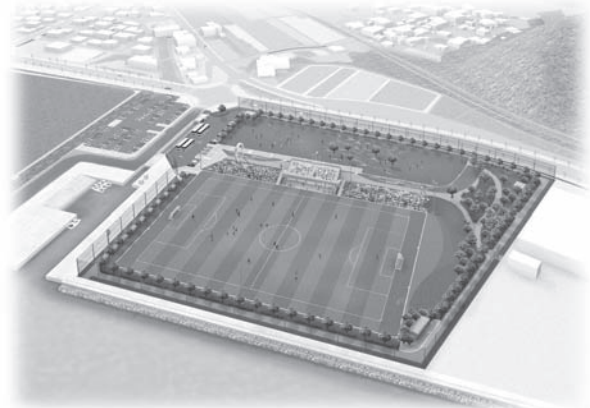
### 侵入防止恒久柵の設置を決定

平成23年度当初・6月補正予算で、町全体の山際を囲う経費が計上されました。

今後、事業の説明会や協定が終わった集落から、順次実施していきます。



町全体を囲む金網柵



みどりの広場の完成予想図



### おおい町にサッカー場を

成和地区多目的グラウンド横の空き地を、サッカーなどのスポーツに使える緑の広場に整備する計画はどうになりましたか。

(新谷 欣也 議員)

町長答弁

### 整備に向け基本設計に着手します

競技者間交流や、さらには地域間交流にまで発展させるための受け皿として、サッカー競技にも使えるグラウンド整備の計画を行います。

どうなった？



### 実施設計後、来年度から着工

サッカーやラグビー競技に対応できるグラウンドを中心として、今年度中に実施設計が行われ、来年度からは工事に着手される予定で進められています。

あれからどうなったの？

# 夢を追いかけて

大阪ブレイズ 代表 吉村 広美さん

結成以来18年目を迎えました。これまで地域の皆様には温かいご支援を頂き、メンバー一同感謝申し上げます。

現在は恒例のイベント スーパー大火勢のステージに向け練習に励んでいます。会場もうみんぴあ 大阪に変わり期待に胸を膨らませています。

それにしても、3月11日の震災は本当に心が痛みました。メンバーで話し合っ我々も何かできないかと町内で活動されている方々に声をかけたところ話がまとまり、6月19日にみんなの思いが形となり「なないろチャリティーコンサート」が実現しました。

今年のもう一つの夢は、自分達のコンサートを叶えることです。福井、富山、滋賀、大阪と県内外の太鼓グループと交流を重ね、舞台の経験も積んできました。

地道な活動が続ける中で新しいメンバーも増えてきました。私達の活動に興味のある方は一緒に太鼓を叩きませんか。どなたも大歓迎です。この町で新しい伝統を作りましょう。

2年後の結成20周年に向けて飛躍を目指しています。(2011、夏) (森口 記)



# かがや 輝く



女子59kg級 日本代表の正田 絢子選手を囲んで

## 福井国体出場を目指して

おおいレスリングクラブ 監督 三谷 啓司さん

おおいレスリングクラブは、地元のレスリング選手の育成を目指して昭和60年に設立されました。現在クラブ員は3歳児から小学生までの13人で、元気いっぱい練習しています。

このクラブは、全国大会をはじめ年間数多くの大会に出場し、各地の子供たちと友好を深めています。日々の練習では、マット上での様々な運動を通して、厳しい中にも楽しみながら心と体の発達向上に取り組んでいます。平成30年開催の福井国体レスリング競技会場におおい町が決定したこともあり、みんな大舞台に立つことを夢見て練習をしています。

練習会場で保護者の方にレスリングの魅力についてお尋ねしました。(松宮 記)

### 【北村君(5歳)のお母さんから】

息子がレスリングを始めたのは3才のときです。マット運動をしっかりしているおかげか、今まで怪我をしたことはありません。2才上の兄と組むことが多いですが、小学生のお兄ちゃんお姉ちゃんと組むときも優しく指導してくれるので痛がったり嫌がったりすることはなく、練習には積極的です。

3才下の弟も遊び感覚で練習に参加しています。うれしい効果は、病気をほとんどしなくなったこと!

## 議会の傍聴に来てみませんか

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。

次回の定例会は9月です。傍聴について詳しくは議会事務局(77-1111 内線312)までお問い合わせください。

### 9月定例会の予定

会 期: 9月7日から27日まで(21日間)

本会議: 7日(議案提案理由説明)、15日(一般質問)、27日(採決)

委員会: 総務・産業建設常任委員会(9日)、予算決算常任委員会(7・20・21日)

### 【編集後記】

4月の町議会選挙後、初めての臨時会が5月10日に招集され、議会構成が決まりました。その結果、今回も引き続き「広報特別委員会」を設置することが決まりました。

また、6月定例会は、6月14日から14日間の日程で開催され、補正予算のほか10件の議案が審議されました。一般質問では8人の議員が、一問一答方式で町政への質問を行いました。

広報委員会研修報告にも書かせていただきましたが、本委員会は議会基本条例の精神にのっとり、議会の活動内容を町民の皆様にお伝えすることが最大の責務となります。本会議で決まったことだけでなく、議論の過程もできる限り掲載し、議会の議論内容が町民の皆様にも伝わるように努力してゆく方針ですので宜しくお願ひ申し上げます。

- 委員長 松宮 史知
- 副委員長 森口 精治
- 委員 小川 宗一
- 森内 正美
- 今川 直樹
- 尾谷 和枝